

学習したことを生かして

「モチモチの木」

齋藤 隆介

めあて

「モチモチの木」の読書発表会をしよう

一 読書カードを書こう



授業で書いた付せんの中から、友だちにしようかいいたいことをえらんで書きます。

二 読書発表会をしよう

発表会の仕方

二人組でそれぞれのかんそうを発表する。相手にしつもんをする。発表を聞いて、相手にかんそうをつたえる。みんなで発表会の感想をつたえ合う。

作者の他の作品

- ・「ソメコとオニ」
- ・「かみなりむすめ」
- ・「半月村」
- ・「ひさの星」
- ・「八郎」
- ・「花さき村」

9・10/16 時間目 指導略案 読書カード

活動のねらい

「モチモチの木」の読書発表会を通して、作者の作品に関心をもたせる。

1 モチモチの木の読書カードを書く。

読み取りの過程で書かせた付せんを基に、モチモチの木の読書カードを書かせる。読書カードに書かせる内容は、書名 紹介文(心に残ったことや思ったこと)とする。

2 モチモチの木の読書発表会をする。

二人組で、それぞれ感想を発表する。お互いに質問をし合う。発表を聞いての相手に感想を伝える。全体で発表会を行う。全体で発表会の感想を交流する。

学級の人数に応じて、二人組でなく、グループで発表し合ったり、始めから全体で発表し合ったりしてもよいでしょう。

3 作者の齋藤隆介の他の作品について知る。

・「ソメコとオニ」
・「かみなりむすめ」
・「半月村」
・「ひさの星」 など
発表会が終わったら、教室や図書館などにコーナーを作って、読書カードを掲示して紹介するとよいと思います。

* 本は、地区の図書ネットワーク等を利用して事前に集めておくともよいでしょう。

4 作者の他の作品を読んで、読書発表会を知ることを知る。

評価 友達の発表に対して、意欲的に質問したり、感想を言ったりしようとしている。